

産地パワーアップ事業の取組事例（29～30年度：計画作成主体：海陽町地域農業再生協議会）(徳島県)

取組の概要

取組の概要 : きゅうり産地の拡大
 計画作成主体 : 海陽町地域農業再生協議会
 対象品目 : きゅうり (産地面積5.54ha)
 主な取組主体 : かいふ農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)
 助成金の活用 : 整備事業 (生産技術高度化施設) 状況

ポイント

海陽町のきゅうりの担い手確保や規模拡大を加速化するとともに、低コスト耐候性ハウスの導入による栽培期間の拡大により、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

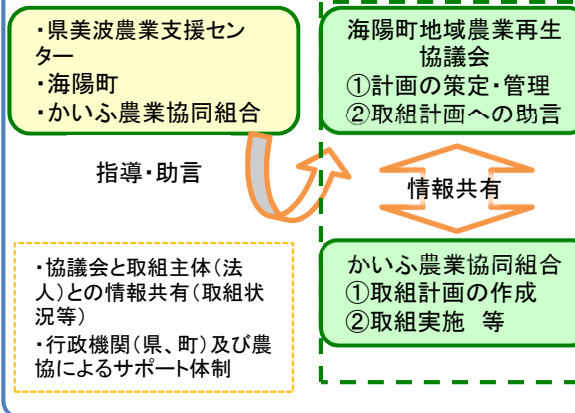
作付面積 5.16ha
 販売額 313,543千円
 出荷量 1,153t
 販売単価 271.9円/kg

〈目標:R2年度〉

作付面積 5.54ha
 販売額 415,918千円
 出荷量 1,328t
 販売単価 313.2円/kg



推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 「きゅうり塾」における新規就農者研修
- 栽培マニュアル作成

事業効果

【事業実施による直接効果】

低コスト耐候性ハウスの導入や新規就農者の確保、栽培技術の習得を行うことで作付面積が増大し産地の拡大が図られる。
 また、養液栽培施設を導入することで、栽培管理作業の省力化、多収栽培による生産拡大が図られる。

【事業実施による間接効果】

移住就農者の受け入れにより、担い手の減少に歯止めがかかる。

～きゅうりの総販売額～ (33%増加)

